

オープンデータ利活用 総合基盤システム 「ODEN」の企画

平成28年度国立情報学研究所教育研修事業
学術情報システム総合ワークショップ
B班 梶原茂寿

B班メンバー

梶原 茂寿

北海道大学附属図書館

法常 知子

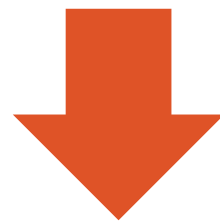
九州大学附属図書館

町屋 大地

国立国会図書館

松原 恵

東京大学駒場図書館



研究データの**ユーザ側**の視点から企画

ODEN の企画趣旨

- データはオープンに公開されつつある
(という前提で企画)
- 十分な利活用がされていない。
 - ← データが各所に**散在**している
 - ← データの**利活用支援**の仕組みが不十分
- なので、……

オープンデータ 利活用総合基盤システム (Open Data Enhancing Network) 愛称：ODEN

の開発を企画することにした。

基本コンセプト

ODEN：オープンデータ利活用総合基盤システム
(**O**pen **D**ata **E**nhancing **N**etwork) は：

散在するオープンデータの

- メタデータを**一元的に集約**し、
 - 研究データの**ワンストップでの検索**を可能にする
 - オープンデータの**メタデータ・データベース**
- である。



基本コンセプト 2

利用を促進するための特徴的な機能として：

- **レコメンド機能**や
- **ゲーミフィケーション要素**を導入する。

どのようなレベルの利用者であっても利活用しやすいよう：

- ユーザーが交流・情報交換できる**フォーラム**や
- ユーザーによる自発的な情報の蓄積を可能とする**ツール&マニュアル**機能を用意する。

VISION of ODEN

DATA for Your HAPPINESS

研究データを解き放ち人びとを自由にする!!

MISSION of ODEN

あらゆるオープンデータが
見つけやすく、使いやすい
場[コミュニティ]を実現する。
そのことにより、全社会の研究・
イノベーションを加速させる。

VMISO



VMISOを定めよう

Vision

・実現すべき未来

Mission

・達成すべき使命

Strategy

・実施すべき戦略

Objectives

・到達すべき目標

学問を生かす社会へ

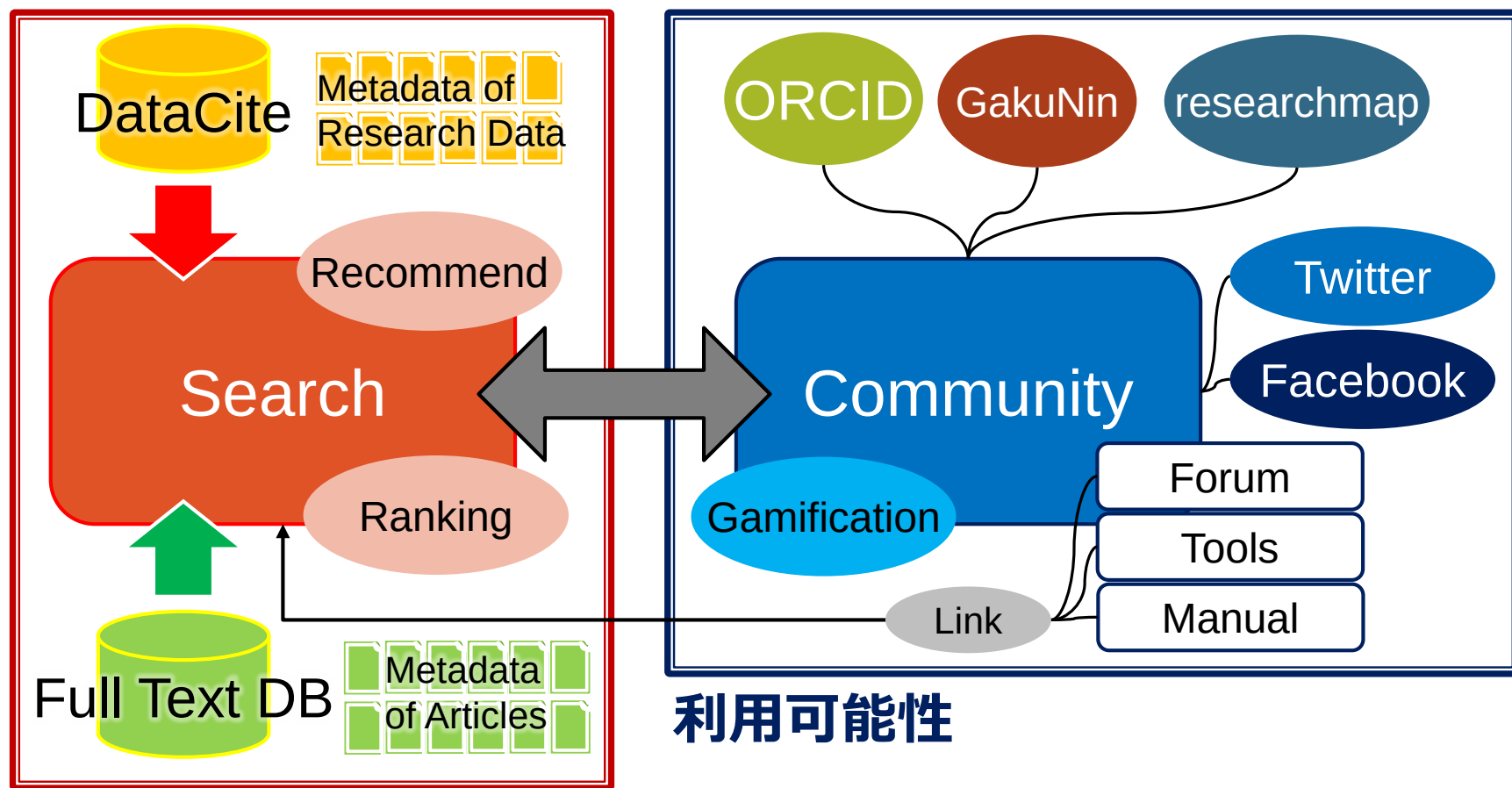
8

Copyright アカデミック・リソース・ガイド株式会社 All Rights Reserved.

arg.ne.jp

平成28年度学術情報システム総合ワークショップ
岡本真「サービスの企画」資料より (CC BY 2.1 JP)
<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/ciws/h28/1-02.pdf>

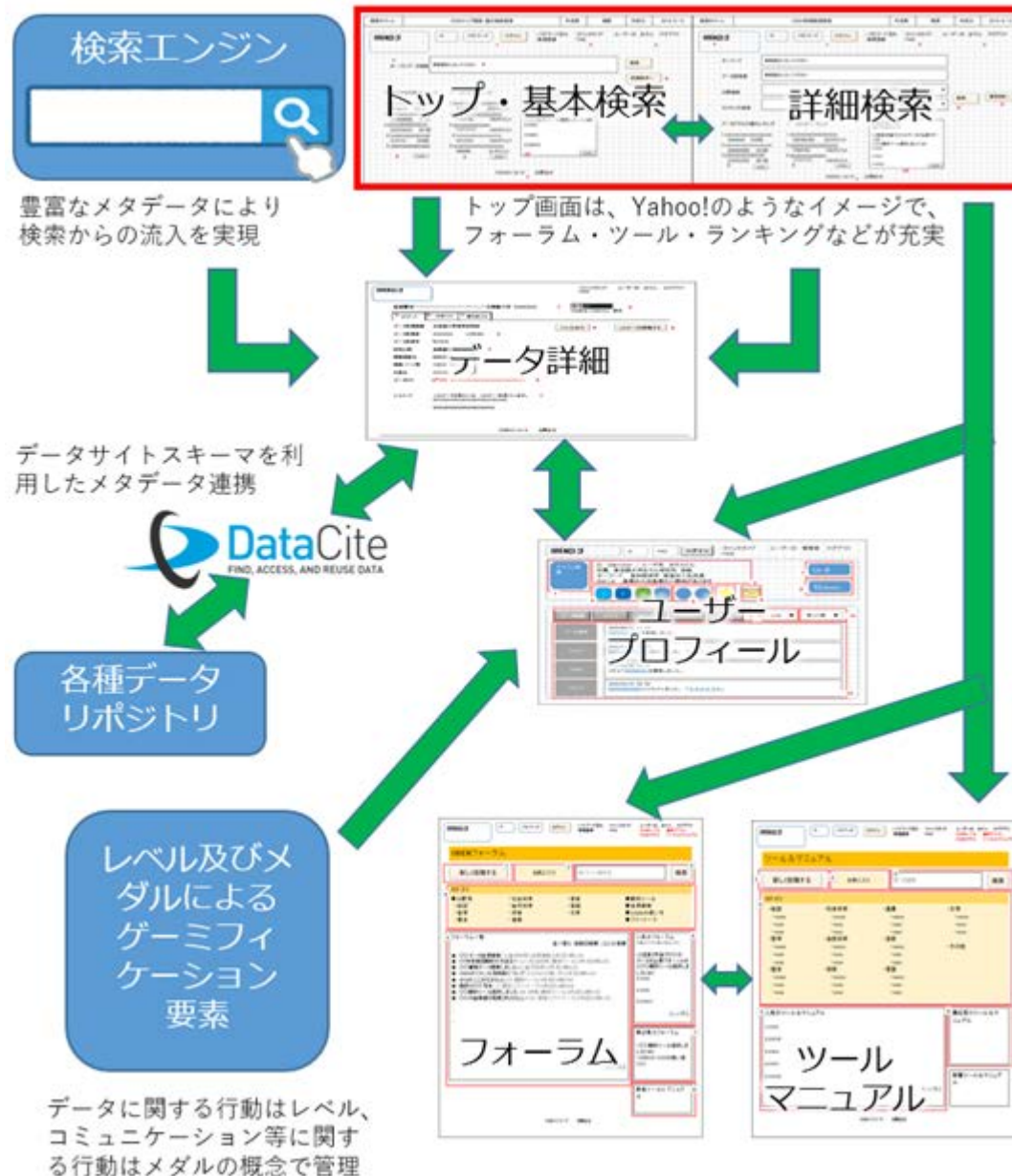
システムのイメージ



発見可能性

利用可能性

画面遷移 イメージ



発見可能性のための機能

- 検索機能の充実 ← 外部システムとのAPI連携
- ✓ **研究データのメタデータ**を対象に検索可能
- ✓ **引用論文の抄録・キーワード**からも検索可能
- ✓ 基本検索・詳細検索＋ファセット絞込み
- **ランキング**(アクセス順＋評価順)
- コンテンツベース**レコメンド**
- 履歴照会

利用可能性のための機能

- フォーラム機能

- ✓ ユーザー相互の**交流・情報提供**による**自助的な能力育成**

- ツール&マニュアル機能

- ✓ ユーザーによる**ナレッジの蓄積**による活発なデータ利用

- ゲーミフィケーション

- ✓ **ライトユーザー**が継続的に利用し続ける**動機づけ**
- ✓ 心理的インセンティブによる**コミュニティの形成**

まとめ・今後の展望

- データを集めるだけがデータベースの作成ではない。
- 様々なユーザーに対応できるシステムを構築することによって、データベースの利活用をより促進する。
- データベースのリピートユーザーを作るための遊びも必要。

MISSION of ODEN

あらゆるオープンデータが
見つけやすく、使いやすい
場 [コミュニティ] を実現する。
そのことにより、全社会の研究・
イノベーションを加速させる。

Reference:

- B班ワークショップ成果物一式

<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/ciws/h28/curritxt.html#result>